

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1025

所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当者名	矢田 明美
事業名	中学校教育振興事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	中学校教育振興事業			政策体系	122
会計	一般会計	科目	10. 教育 - 3. 中学 - 2. 中学		

1. 事業の概要

生徒の実態や地域社会の実情を生かして、心の教育、人権教育、環境教育、情報教育、体力、競技力の向上、芸術・文化の振興等特色ある学校づくりの推進を積極的に図る。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

学校教育推進のため、各学校で執行する経費

② 事業を実施する必要性

各学校規模に応じて必要。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	9,300	8,615	7,641	7,666	7,536	8,087	8,087
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,300	8,615	7,641	7,666	7,536	8,087	8,087
職員等の従事人員		人/年	—	—		0.15			
人件費		千円	—	—		426			
事業費総額		千円	—	—		8,092			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

園部中学校	2,855,508円
八木中学校	1,981,090円
殿田中学校	1,379,167円
美山中学校	1,450,395円

5. 事業結果の概要

地域社会の実情を生かした特色ある学校づくりの推進や、学力の向上・定着に向けた各種取組等の学校運営の検証作業（学力総合調査）により、計画に基づく実践と検証のサイクルを通じ、体系的な事業展開ができた。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1)		
中学校4校で授業に必要な教材、消耗品等を各学校で選択して購入した。		生徒の学力の充実、向上の推進。

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

学校教育環境整備にかかわるものであり、学力の充実・向上を推進し生徒一人ひとりの個性能力を發揮できるように努める。学校備品については教育効果の改善向上のために不可欠であり、学校において備品の整備を図り、計画的に執行していく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
生徒の教育環境整備にかかわるため、消耗品等の削減については困難である。学校において適正な執行を図ってもらう。
- ②当該事業のアピール事項
教育活動と連動しており、必要
- ③反省点、今後の展開・方向性等
継続実施すべきである。